

「教育課題に関するグループ研究発表会」

を開催しました（1年）

教育創造コースの1・2年生は、昨年の1学期からそれぞれの学級内でグループを編成し、教育課題に関するテーマを設定して、グループ研究を進めてきました。

令和6年3月1日に香川大学教育学部より小方朋子先生と川東芳文先生をお招きし、1年生がその成果を発表し、両先生方とコースの2年生から質疑を受け、ご講評もいただきました。

1年生にとっては、このような形式での研究と発表はほぼ初めての経験でしたが、学級担任・副担任や香川大学教育学部生から指導・助言を受けながら協働的に研究をすすめ、貴重な経験をし、大きな学びを得ました。

教育創造コース1年生の研究テーマ

班	テーマ
1	不登校児童の学習状況の改善に関して
2	インクルーシブ教育と向き合う ～教育体制をよりよくするには～
3	いじめと行事の関係
4	部活動改革
5	教師の言葉の伝え方が生徒の心に与える影響
6	身だしなみに関する校則改善 ～お互いを尊重し受け入れられる環境とは～
7	香川県の待機児童をなくすには
8	より良い英語教育を目指して
9	未来の教員志望の人を増やし維持するためには ～教員の減少について～
10	主体的に取り組める異学年交流とその支援方法とは



今回1年生は、問いの立て方、レジュメの書き方、発表スライドのまとめ方など、「探究」の手法についても学びました。小方先生や川東先生からの質疑により、研究の弱点やさらなる課題も明らかになりました。

今回の経験を元に、2年次からは、テーマを設定し直し、教職と教育課題についての理解をさらに深めていきます。また、自分の研究を軸に、多種多様な人々と意思疎通をしたり、発表活動をしたりなどしていくことで、総合的な人間力も高めていきます。